

令和6年度子ども読書活動推進に係る各課の取組について

①読書環境の整備

同和課 教育委員会事務局	しろなみ児童館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館図書室の蔵書数は、児童書や絵本が255冊、図鑑が52冊、漫画本90冊、計400冊ほど。図鑑を26冊購入したが、他の本は地域の方からの寄贈、市内図書館などからのリサイクル本であり、地域の方からの寄贈で増冊している状況である。</li> <li>・月1回程度、市内図書館での貸し出しを利用しており、読書活動の推進・充実を図っている。</li> <li>・人権教育推進員や保育士により、読書活動を推進している。</li> </ul>
	下郡市民館 下郡教育集会所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育集会所で、毎年度、人権学習関連図書（絵本・児童書等）を購入して、所内に設置し、来所児童・生徒が閲覧（貸出可）することができるようにしている。</li> </ul>
	寺田市民館 寺田教育集会所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去に収集された書籍が設置されているが、近年においては新規購入無し。</li> </ul>
	いがまち人権センター まえがわ教育集会所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館図書室の児童図書を定期的に購入するなど読書環境の整備を図っているが、古い書籍が多く、書棚は老朽化による転倒が危惧される。子どもの興味・関心に応える新刊図書への入替、書棚を整備することで最適な読書環境の充実を図る。</li> <li>・今後はソフトウェアの導入を検討し、蔵書登録等をデータ管理することで書籍の貸出や返却の負担を軽減できるよう取り組む。</li> <li>・ひだまりサロン（青少年活動センター）の絵本を毎年購入するなど、絵本コーナーの充実を図っている。</li> </ul>
	ライトピアおおやまだ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蔵書の充実を図る。また、図書貸し出し冊数の増加を促す。</li> </ul>
老川児童館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当施設の性質上、人権にかかわる図書・絵本・児童書、日常生活に役立つ料理や手芸の本を多く所蔵している。また、本だけでなく、人権に関するビデオ、紙芝居、講演会や研修会の記録、郷土資料なども多い。</li> <li>・分類別に並べることで、利用しやすくしている。</li> <li>・図書館司書、保育士の資格を持つ職員が勤務しているので、利用者に図書案内が行える。</li> </ul>	

障がい福祉課		<p>○日常生活用具給付 障がいのある人が、在宅での日常生活がより円滑に行えるよう、日常生活用具を給付することで、自立した生活を促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障がい者用拡大読書器、眼鏡装着型文書読み上げ装置、視覚障がい者用活字文書読み上げ装置、点字器、点字ディスプレイ など（概ね、学齢児以上で視覚障がい2級以上 など）</li> </ul> <p>○伊賀市点字広報・声の広報等発行业 委託先：上野点字図書館 事業概要：視覚障がい者等が行政情報の収集を容易にするため、各戸に配布される「広報いが」「伊賀市議会だより」等の点字版と録音版を製作し、視覚障がい者等の社会参加促進を目的としている。</p> <p>○伊賀市点字奉仕員等養成事業 委託先：上野点字図書館 事業概要：視覚障がい者の福祉に理解と熱意を有する方に対し、点訳及び音訳技術の指導を行うことにより点訳・音訳奉仕員を要請し、視覚障がい者等の読書環境及び情報環境の充実を図る。</p>
こども未来課		<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブに各学年に対応した書籍を常備し、利用児童が興味を持てるように環境を整備している。</li> </ul>
保育幼稚園課		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所において子どものさまざまな興味や関心に応じ、読書スペースや絵本コーナーを整備し図書資料の充実を図っている。</li> <li>・保育士の資質の向上を図るため、子どもの読書活動に関する研修会等に参加している。</li> <li>・上野図書館、読み聞かせのボランティアと連携し、保育所において読み聞かせ会の開催や研修を実施している。</li> </ul>
教育総務課		<p>○学校図書館図書標準について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小学校・中学校に対して図書購入予算を配当し、文部科学省が定める公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の充足・充実に努める。</li> <li>・学校へ配当する全予算のうち30パーセントは不足蔵書割とし、学校図書館図書標準に満たない学校から傾斜配分している。</li> </ul>
学校教育課		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校には学校図書館法に準じて学校図書館が設置されているだけでなく、各学級では学級文庫として児童生徒の発達段階に合わせた本を置くなど、読書に親しみやすい環境整備に努めている。</li> <li>・今年度は県の事業を受け、読書図書館活用アドバイザーをモデル校3校（上野東小、府中小、青山小）にそれぞれ派遣し、各校の実情に応じて児童の読書活動推進に役立つ取組を行っている。</li> </ul>

生涯学習課		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習支援員が上野図書館の団体貸出を活用し、夏休みに地区市民センターに子ども向けの本を設置している地域がある。</li> <li>・中央公民館事業として年2回、読み聞かせボランティア養成講座を実施している。</li> </ul>
上野図書館		<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な選書による蔵書の充実に努めており、利用者からのリクエストにも可能な範囲で応えている。</li> <li>・読み聞かせボランティアの後継者育成が課題であることから、ボランティア意見交換会を開催し、研修会の案内や意見の徴収による支援の充実に努めている。</li> <li>・小中学校へセット文庫を配送し、学校との連携強化を図っている。</li> <li>・社会見学、職場体験等の受け入れにより、図書館や読書に興味をもってもらう取組をしている。</li> <li>・上野図書館と各図書室の図書配送により、最寄りの窓口で本を借りることができる取組を行っている。</li> <li>・令和6年4月から、電子図書館の運用を開始し、利便性向上に努めている。</li> <li>・令和7年度から運行を開始する移動図書館の整備と運営の準備を行っている。</li> </ul>

## ②読書機会の提供

	しろなみ児童館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休暇の昼休みにお話しタイムを設け、図書館の貸し出しによる大型絵本や人権絵本の読み聞かせを実施している。</li> <li>・自由時間にも、子どもたちに読み聞かせを実施している。</li> <li>・子どもたちからリクエストを募り、人気の本を購入して配架することで、本への関心が持てるように努める。</li> <li>・運動場で見つけた虫や、身の回りに触れたものを図鑑で見せ、興味を深めるよう支援する。</li> </ul>
	下郡市民館 下郡教育集会所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学生地区学習会開始前の自習の時間に、参加児童生徒に購入設置した図書を紹介する等して、個々の興味関心等に応じて自主的な読書活動ができるようにしている。</li> </ul>
	寺田市民館 寺田教育集会所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区学習会終了後、及び教科学習会で自習するとともに、各自の興味・関心に応じて読書ができる場を設けている。</li> </ul>

同和課 教育委員会	いがまち人権センター まえがわ教育集会所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本を身近なものに感じるとともに子どもの就学前の学力向上につながる取組として、絵本の大切さと保護者による読み聞かせにより、子どもの成長とつながりを深めるため、大きな輪保育「絵本の広場（るるん）」を開催している。</li> <li>・11月予定のNPO団体との交流では、書店に絵本を買いに行き、購入した絵本を親子で読んだり、NPO団体・保育士による読み聞かせをしたりするなど、同じ絵本でも違う人が読むことでまた違う良さや楽しさを感じてもらおうことをねらいとしている。</li> <li>・団体活動支援事業「就学前学力保障会議」は、地区の課題である学力格差と低学力について、保育園、小・中学校と連携し、家庭学習習慣などについて保護者にアンケートを取りながら課題解決に向けて取り組んだ。新たに生活習慣・家庭学習強調週間を実施することで、絵本の読み聞かせが増えた。「ノーデジタル」の取組として、テレビやゲームの時間を読書・宿題に充てていた等の結果が報告された。</li> <li>・土曜開館事業「本を読む会」は、子どもたちが自主的に参加することで本を読むという楽しさを実感させることができ、読書習慣の定着を目指すことで学力の向上を図るものである。しかし、参加者がほとんど来ないのが課題であり、興味関心を引く書籍を配置するなど今後、参加促進に向けて働きかけていく。</li> </ul>
	老川児童館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開館時間内なら、誰でも利用することができる。</li> <li>・明るく入室しやすい図書室づくりを行っている。</li> </ul>
こども家庭支援課		<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児健診（1.6歳児健診・3歳児健診）や2歳児相談の待ち合いに絵本を置き、子どもの読書機会を提供している。</li> <li>・親子ふれあい教室（幼児健診後のフォロー教室）で、保育士による絵本の読み聞かせを行っている。</li> </ul>
こども未来課		<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブ利用児童に読書の機会を毎日提供している。</li> <li>・一部の児童クラブでは、指定管理者の自主事業として、読み聞かせを開催し、読書の機会を提供している。</li> </ul>
保育幼稚園課		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の中で絵本等に興味を持ってもらうため読み聞かせの機会を提供している。</li> <li>・絵本等に興味を持ち、楽しんでもらうため大型絵本などを用いている。保育所の図書の貸し出しを行っているほか、絵本の紹介も行っている。</li> </ul>
学校教育課		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校では多くの学校で、地域ボランティアや教師が中心となって読み聞かせを取り入れている。</li> <li>・中学校では、ほとんどの学校で「朝読」として朝の10分間読書を取り入れている。</li> <li>・小中学校ともに各校で図書館年間計画を作成し、年に数回、読書週間を設けたり、読書感想文やビブリオバトルに取り組んだり、年間を通して児童生徒に意図的に読書に取り組む機会をつくっている。</li> </ul>

生涯学習課		<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育指導員と生涯学習支援員が連携して読み聞かせボランティアを組織化し、保育園や小学校で読み聞かせ活動を行っている地域もある。</li> </ul>
上野図書館		<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書感想文コンクールを実施し、広く読書に興味をもってもらうためのPRに努めています。</li> <li>・小学校高学年の調べ学習事業の実施により、図書館の資料を使用した学習の方法を学ぶ機会を作っている。</li> <li>・子どもと保護者を対象に図書館に興味を持ち、体験しながら利用方法について学んでもらう機会として、夜のとしょかん探検事業を実施している。</li> <li>・外国語絵本のおはなし会を開催し、いろいろな国の言葉や文化を知る機会を作っている。</li> <li>・新図書館開館に向けた事前の取組として、小学生対象のビブリオバトルプレ大会を開催する。</li> <li>・上野図書館及び各図書室で各種読み聞かせ会を定期的で開催している。</li> </ul>

### ③読書活動の啓発

同和課 教育委員会事務局	しろなみ児童館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本コンクールやこども読書週間のポスターを掲示し、啓発している。</li> <li>・絵本のお絵かきコンクールの案内をして、子どもたちと応募作品に取り組んでいる。</li> </ul>
	下郡市民館 下郡教育集会所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関等からポスターの掲示、パンフレット・チラシ等の設置依頼等があれば対応している。</li> </ul>
	いがまち人権センター まえがわ教育集会所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月発行している機関紙「すいしん」に児童館・ひだまりサロン（青少年活動センター）・保育園の絵本を紹介している。</li> </ul>
	老川児童館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども読書の日、子どもの読書週間を周知する。</li> <li>・児童館のさまざまな活動の機会に、子どもの読書活動が重要であることを保護者に啓発する。</li> </ul>
多文化共生課		<ul style="list-style-type: none"> <li>・多言語情報誌やSNSなどを通じて広報啓発活動に努める。</li> </ul>
こども家庭支援課		<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児健診時に、図書館の読み聞かせカレンダーを配布している。</li> </ul>
保育幼稚園課		<ul style="list-style-type: none"> <li>・園だよりなどを通じて、貸出案内や読み聞かせの啓発などを行うほか、保護者への絵本の紹介や子供の反応も伝えている。</li> <li>・絵本の紹介や家庭への貸し出しを行うとともに、保護者からの相談に対しアドバイス等を行っている。</li> </ul>

学校教育課		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、小学1年生、中学1年生の保護者へ向けて「いっこ家庭学習・読書のすすめ」を配付し、伊賀市の児童生徒の読書の状況や読書の重要性について伝えている。</li> <li>・図書館教育担当者や図書委員会の児童生徒などが「図書館だより」などの通信を作成し、児童生徒や保護者に向けて配付している学校もある。</li> <li>・PTA講演会などで家庭での読書に関する講演を行ったり、学校だよりで校長から保護者へ向けて児童生徒の読書の状況などを伝えたり、地域や保護者と連携して読書活動の啓発を行っている。</li> </ul>
生涯学習課		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市のホームページや広報いがを利用し、「子ども読書の日」や「秋の読書週間」「文字・活字文化の日」について啓発している。</li> </ul>
上野図書館		<ul style="list-style-type: none"> <li>・長年読み聞かせ活動を続けているボランティア団体を「子どもの読書活動優秀団体」に推薦し、文部科学大臣表彰を受けたことにより意欲的な活動に繋がっている。また、これを広くPRすることで、新たなボランティアの育成に努めたいと考える。</li> <li>・各小中学校へのアンケートによるニーズの把握に努めている。</li> <li>・学校図書館担当者、郷土教育担当者研修会では、図書館や「デジタルミュージアム秘蔵の国伊賀」の利用方法のPRを行い、教材としての利活用に繋がるよう努めている。</li> <li>・図書館・図書室の情報を広報、ホームページ、行政チャンネル、LINE、フェイスブック等で広くPRしている。</li> </ul>

※課題

同和課 教育委員会事務局	しろなみ児童館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算に制限があり、購入が難しい状況である。</li> <li>・来館児童数が多く、ゆっくり読書に親しむ環境ではないこともある。</li> </ul>
	老川児童館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本に触れる機会を意識して増やさなければならない。</li> <li>・予算に制約があることにより、利用者のニーズに応えきれていない。外国籍の方の利用もあるので、多文化の図書を増やしていきたい。</li> <li>・地域の子供が少ないので、活動内容が限られてくる。もっと利用してもらえよう、楽しい企画をし、呼びかけていくことが必要。</li> </ul>
こども未来課		<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブで読み聞かせを行う場合は、利用児童の学年幅がある場合、興味を持つ書籍を選択することが難しい。</li> </ul>

<p>学校教育課</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙によると、伊賀市の児童生徒の家庭における蔵書数は全国に比べると低い数値になっている。児童生徒の不読率が高い原因の一つとして、家庭環境が関わっていると考えられる。同じく家庭での新聞購読がないため、新聞を読まない児童生徒も年々増加傾向にある。</li> <li>・市内で本を購入するにも本屋が少なく、市立図書館や図書室も限られている。学校図書館は、様々な環境に置かれた児童生徒が平等に本を手にする機会を得られることを目指して取り組んでいるが、地域に出ても自分で本を手にすることができるように、地域の図書館・図書室と学校図書館とのさらなる連携が必要だと考える。</li> </ul>
<p>上野図書館</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本や読書に興味を持つ機会を作ることが必要と考える。本に触れることが日常となる取組（朝読など）が重要と思うが、学校では以前から取り組んでいるとのことである。</li> <li>・小学生以下の場合は、保護者の関心の度合いにより大きく差が出ると思う。</li> </ul>